話題を掘る(1)

8円40銭・教員給料6人分

岡豊町小蓮の和田家＝当主・知久さん＝は三百年を越す旧家で、武士・庄屋・郷士と家職は時代相のままに変遷した。

明治後期から昭和にかけ、この間の当主たちが在家しなかったことがあり、おびただしい武具と旧記が事由不明で散失、市の裏面史上惜しまれる。

この紙上では、今も所蔵しているものの中から、話題となる一部を紹介しよう。

まずお目見得するのは、ふすまの下張りに使ってあった明治十七年（九十七年前）六月の、同地小野小学校職員六人分の給料受取証。

同校は「小野村」であったころ、今の岡豊病院と同位置にあった。

受取証は薄い上質の和紙（18・5センチ×14・6センチ）に墨書、金額八円四十銭は六人の合計。〝証〟の代表者で最高六円の美濃部という人は、校長であろうか。関連の文書によると、五月分、六月分とも給料の中に賞与（割合不明）がはいっている。六月分一円五十銭の山崎という人は、定額二円五十銭だが病欠で引いたとある。

岡崎という人の十銭、どんなに解釈するとよいのか……。十年の西南の役で安定していた米価が上がり、十三年には、古い単位の一升が十四銭二厘。給料支払い時も極端な差はなかろう。今日の教職員給料と比較できないほどの低賃金で、封建治下の余韻まざまざ。

南国市文化財審議委員　三谷勇喜

元気に地引き網

障害者七十名が参加

四月十二日、恒例になった『地引き網』（南国市身体障害者協議会＝徳橋義伸会長）が浜改田の海岸で行われました。

参加者は、各地区会員、民生委員など約七十名で、この日は、日曜とあって地引き網のお客さんが四団体と多く、九時半の予定が十一時頃に網を引き始めました。しかし、子供会の協力もいただいて、スピードアップ。網の中で飛びはねるアジゴ、サバゴ、太刀魚などを見て、網を引く手に力が入っていました。

ことしは〝国際障害者年〟ということもあって、市民の意識も高まっている中、初めて「土佐希望の家」から、重度の障害児四人が参加しました。

協議会の会員も五十五年度には二百名から四百二十名へと飛躍的に充実しつつあり、ことしを大きな契機として、障害者の福祉向上のために一層の努力が期待されています。

水道料金値上げ「イヤです」

親子クイズ 116

ご家庭で話し合って答えてください。答えは、この広報に出ています。

■**もんだい**・四月十三日、前浜にお年寄りたちの集いの場所、○○○○○が完成しました。

■**しめきり**・五月十五日

■**おくり先**・〒783　南国市大埔甲二三〇一　南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには**必ず、住所・氏名・年齢・職業**を書いてください。

■**賞品**・特賞千円＝三人、残念賞（記念品）＝五人

第115回正解者発表（敬称略）

（応募総数28通）

■**こたえ**・八〇億

■**特賞**・千円＝三人

本川菊吉（岡豊町）

杉村弘行（物部）

谷益子（岡豊町）

■**残念賞**・記念品＝五人

岩原久彦（白木谷）　竹内久乃（奈路）　神田正春（浜改田）　山中啓司（大埔）竹内正水（奈路）

前浜に〝老人憩の家〟誕生

〝地区に、お年寄りたちの、ゆっくり話し合い、憩える場所が欲しい〟という願いがかなって、前浜南部福祉館東側に「前浜老人憩の家」が完成、四月十三日落成式が行われました。

この施設は、県の老人福祉対策事業の一つとして行われたもので、建物は木造平家建、面積九十平方で収容人員四十五名、炊事場・便所を備え、風通し、日当りに特に配慮されています。

式には、小笠原市長や地元のお年寄りたち約五十名が参加、まず、南部健寿会の前田常喜会長がお礼の言葉、市長が「お年寄りたちが、心ふれ合い、生きがいを話し合える場として、最大限に活用して下さい。」とあいさつ。

また、あるお年寄りは「みんなが、こうして集まれる場所ができて、本当に良かった。ただ、備品がなく、将棋と囲碁の道具を揃えてもらいたい。」との希望がありました。歓談するお年寄りたちの顔は、生き生きと輝いていました。

意識調査へのご協力ありがとうございました

市政の方向づけとなる『総合計画』をつくろうと――市民のみなさんを対象に、昨年十月に実施しました「市民意識調査」と「市民論文の募集」については、多くのみなさんのご協力をいただきましたが、このほど、その集計ができました。

意識調査（アンケート）は、千四百名（無作為）に配布、そのうち回答をお寄せいただいた方が八百六名で、回収率五十七・五％でした。

また、「南国市の未来像」と題する市民論文については、応募者がわずか三名と、予想以上に低調に終りました。

集計しましたみなさんの貴重なご意見、ご提案は、これから作成する『総合計画』に反映させていただきます。

紙面によりまして、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

【企画財政課】

南国歌壇

満開の鏡野公園春うらら
人輪をなして踊りていたり　後免町　**刈谷益子**

日のみ旗天高々とかかげ師は
紀元節歌を歌ひ逝きたり　大埔　**中田憲秀**

夕ばえて花散りそそぐ早稲田には
墨絵のごとく耕運機ゆく　篠原　**山本　茂**

美しく老いるを幸と嫁の云ふ
心豊かに三十一文字を　下野田　**竹村虎治**

春秋の落葉掃除がひとしごと
庭の端にある樫の大木　亀岩　**島本　暄**

さ庭べの苦青みたつ夜の雨を
抜園の痛みに耐へつつ聞けり　西島　**高橋佐代**

南国柳壇

ピカピカのつけた帽子のさくら花　立田　**北村幸江**

叱られる孫にも意地の黙秘権　十市　**武市日出志**

大統領撃たれ世界に衝撃を　後免町　**隅田俊作**

春染みて川端柳に白い顔　立田　**清岡照子**

南国俳壇

薬牡丹の茎立つ様の塔に似て　（柿の実会）　**松浦智恵子**

入学の孫の便りの文字確か　（〃）　**小松千都**

飛ぶ自信出来て雀の子も庭へ　（〃）　**鈴江妃世**

空っぽの小壺とレモン山笑う　（花楮俳句会）　**楠瀬秀子**

嫁ぐ娘に陽の澄みおりし雪柳　（〃）　**福井英子**

桜前線子等は一途の言葉もつ　（〃）　**岡田寿子**

野火金色、ユンボが頬杖つく日暮　（大篠俳句教室）　**森本青三郎**

岬まわりのバス　行商の魚におう　（〃）　**寺石由美**

春暁の吐息を点火湯沸器　（〃）　**谷本深雪**